



協会エンブレム
左は協会ロゴ兼エンブレム。2016年7月に制定。協会員・加藤隆久氏の作品。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を呼びかける。1973は協会創立年。



「顔」新橋綱 逆転運霸
十五年
遅咲き雲竜
稀勢の春

「春季教室」3週の鍛錬を終え、修了証を手にした12人の受講者(3月19日・市民公園で)



日曜3週 12人腕上げる



ナイスバック！ 練習に励む受講者(球出し役⓪は加藤隆久理事)

球春満開 熱気の教室

市民公園

協会今年の活動は「春季教室」でスタート。市民公園Aで3月19日(日)まで日曜3回。12人が3クラスにわかれて腕を磨いた。各回、午前9時から午後1時まで4時間の練習。ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなど基本技に始まり、ダブルス形式の練習へ。ポーチ、チェンジにも取り組んだ。ルール&マナーも学び、最終日はダブルスゲーム。随所に練習の成果を発揮していた。

上達、飛躍めざし

桜のつぼみまだ固い市民公園。3月5日、12日、19日の3回。12人はストローク、ランニングで体をほぐしたあと、自己申告で初級、中級、上級にわかれて練習開始。春風の中、陽光を浴びて快い打球音を響かせた。

初・中級はまずグリッパ、スタンス、スイングなどの基礎。狙って芯でとらえるストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなど基本技の習得に励んだ。上級はこれら基本技とそのスムーズな一連化。ダブルスでの攻防に取り組んだ。各クラスともルール・マナーも学習。

休憩を挟み各4時間、上達と飛躍をめざして練習。最終日の後半は実戦ダブルス。ゲームの楽しさ・難しさを味わい、基本技をはじめ、練習の成果を試した。実戦ではナイスサーブ、ファイニッシュ、好カバリーなどを見せていた。熱気にあふれた教室は桜よりもひと足さきに満開の感。修了証を手渡して閉講。球出し・コーチ役の協会役員、ご苦労さま。

会員証を同封します

17年度会費納入済みの協会員に会員証を同封します。番号を確認し保管してください。

2017年度 大会&行事 全日程

各大会に募集枠
あります。ご注意

★第19回 レディース教室

4月5日(水)～5月31日(水)までの水曜8回。市民公園Aで午前9時～11時。瀬戸市在住・在勤または協会員女性。先着20名。参加費=5,000円。受付=3月15日～29日。予備日=6月7日(水)、6月14日(水)。3月15日付け広報掲載。

★春季大会

4月23日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保=大会開始前2時間練習OK)。瀬戸市内在住または在勤または協会員。男子1部・2部・壮年(50歳以上)、女子1部・2部・壮年(50歳以上)のダブルス。今季から先着計100組を募集。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。学生は参加できません。受付=3月15日～4月5日。予備日=5月7日(日)。3月15日付け広報掲載。

★クラブ・職場対抗団体戦

5月14日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。市内在住・在勤または協会員。男子先着16チーム、女子先着12チーム募集。男子は複2・単1(最少5人)、女子は複2(最少4人)の団体戦。女子1勝1敗後はパートナーを代えて7ポイント先取のタイブレークにより決着。参加費=男子1チーム3,000円、女子1チーム2,000円(協会員も有料)。従来2部に代わるコンソレあり。コンソレ上位3チームには本戦上位と同等の賞品を授与。受付=4月5日～5月8日。予備日=5月21日(日)。4月1日付け広報掲載。

★第68回 市民大会テニス

5月28日(日)。市民公園A・B。東。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。市内在住または在勤者に限る。協会員でも市外の方は出場できません。募集枠なし。男子一般単・複、女子一般複、一般混複、シニア単(男子60歳以上・女子50歳以上の統合戦)、高校生男女複。受付=4月17日～5月10日。予備日=6月4日(日)。4月15日付け広報掲載。

◆役員・理事の方々、午前8時からの総会開会式(体育館)に多数参加願います。

★指導者講習会

6月3日(土)、6月10日(土)の2回。市民公園Aで午前5時～9時。講習は2時間。協会テニス教室指導者対象だが、一般協会員の参加大歓迎。受付なし(当日現地集合)。予備日=6月17日(土)。

★第23回 ミックスダブルス大会

6月25日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。市内在住・在勤または協会員の混複。先着64組。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=5月17日～6月7日。予備日=7月2日(日)。5月15日付け広報掲載。

★第27回 瀬戸地方高校新人戦

7月27日(木)・28日(金)・市民公園A・B。午前7時～午後5時。瀬戸市近郊の高校生。男女単・複。参加費=1人800円。予備日=7月29日(土)。学校関係者に案内。

★ナイター教室

8月5日・12日・19日・26日の土曜4回。市民公園Aで午後6時～午後9時。ナイター3時間×4週。市内在住・在勤・在学者または協会員。参加費=1人4,500円。受付=7月5日～8月2日。予備日=9月2日(土)・9日(土)。7月1日付け広報掲載。

★瀬戸協会一旭連盟 対抗戦

8月13日(日)。市民公園A。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。半世紀近い伝統の一戦。協会員の即席ペアによる男子複、女子複、混合複の通算成績を競う団体戦。協会員だけでも出場OK。昼食数の把握など準備あり。出場希望者は役員に申し出を。当日受付。Aコート集合(遅刻・早退OK。1人3戦程度)。参加費=無料。予備日=8月20日(日)。熱中症にご用心!



大坂なおみ(19歳・日清食品)。昨年末ランク47位・女子協会(WTA)最優秀新人賞。「彼女のサーブは世界ビッグ3!と錦織も絶賛。」

★第28回 瀬戸市選手権大会

9月3日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。市内在住・在勤または協会員。男女シングルスのみ。男子先着64人、女子先着32人募集。男子は早々に満杯になる傾向。早めにエントリーを。参加費=1,000円(協会員も有料)。受付=8月1日16日。予備日=9月10日(日)。8月1日付け広報掲載。

★第12回 100歳ダブルス大会

9月16日(土)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。市内在住・在勤または協会員。ダブルス。先着48組。今年末年齢で男子ペアは計100歳以上、混合ペアは計90歳以上、女子ペアは計80歳以上。統合戦。リーグ戦ののち、各順位別トーナメント予定。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。賞品は1位トーナメント3位までのほか、今回から2位・3位グループ王者にも授与。受付=8月16日～30日。予備日=9月23日(土)。8月15日付け広報掲載。

★第11回 レディースチャレンジ大会

10月4日(水)。市民公園A。午前9時～午後1時頃。レディースビギナー大会(改称)。市内在住・在勤または協会員女性。初心者から中級レベル向き。ダブルス。先着32組募集。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月1日～16日。予備日=10月11日(水)。9月1日付け広報掲載。

★秋季大会

10月8日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時～午後7時を確保)。市内在住・在勤または協会員。男子1部・2部・壮年(50歳以上)、女子1部・2部・壮年(50歳以上)のダブルス。先着計100組募集。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。学生は参加できません。受付=9月1日～20日。予備日=10月15日(日)。9月1日付け広報掲載。

★第7回 高校学年別大会

10月28日(土)、11月3日(祝)。市民公園A・B。午前7時～午後5時。瀬戸市近郊高校生男女。1、2年単・複。参加費=1人800円。学校関係者に案内。予備日=11月4日(土)。

★壮年・レディース大会

11月26日(日)。市民公園A・B。午前9時～午後5時(コートは午前7時から確保)。市内在住・在勤または協会員。男子45歳以上、女子40歳以上の男女別ダブルス。各先着32組募集。人気大会、早めエントリーを。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=10月18日～11月8日。予備日=12月17日(日)。10月15日付け広報掲載。

★協会創立記念大会&総会

12月3日(日)。市民公園Aで午前9時～午後5時。途中、正午～午後1時は体育館会議室で総会。往復はがきで案内。必ず返信を。雨天時は総会のみ行ないません。予備日なし。

★協会理事会&理事親睦大会

18年2月11日(日)。午前11時～午後1時は体育館会議室で理事会。午後1時～午後5時は市民公園Aで親睦ダブルス。往復はがきで案内。必ず返信を。雨天時は理事会のみとなります。予備日なし。

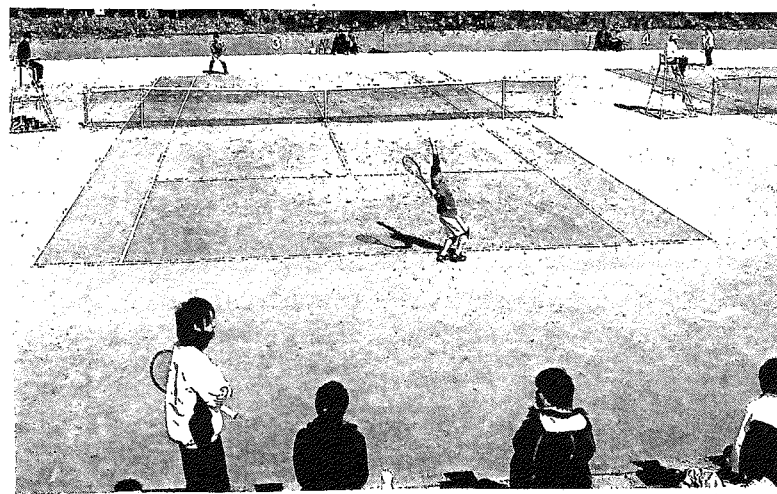
★18年 春季テニス教室

18年3月4日(日)、11日(日)、18日(日)の日曜3回。市民公園Aで午前9時～午後1時。瀬戸市内在住・在勤・在学者または協会員。先着60名。参加費=1人4,500円。受付=2月1日～28日。予備日=3月25日(日)。2月1日付け広報掲載。

★第33回 瀬戸地方高校生大会

18年3月21日(水)、22日(木)。市民公園A・B。午前7時～午後5時。瀬戸市近郊の高校生。男女別単2・複1の団体戦。参加費=1チーム4,000円。予備日=3月23日(金)。学校関係者に案内。

春謳歌 若い力2000人熱戦

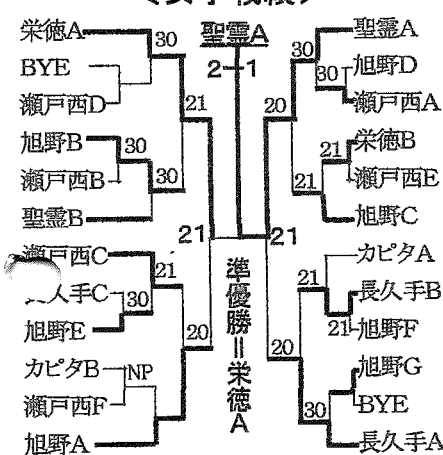


男子の熱戦 サーブを放つ瀬戸西D・高木(手前・協会員)。瀬戸北AIに敗退



女子表彰式 左列から優勝・聖霊A、準優勝・栄徳A、3位・長久手Aの選手たち

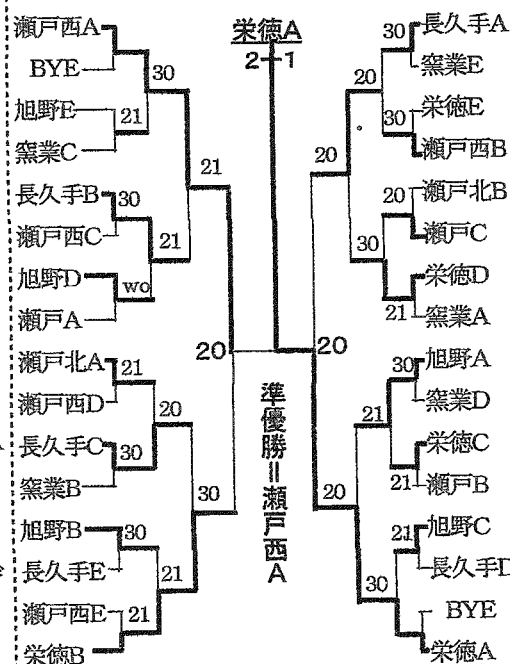
<女子戦績>



[3決] 長久手A 2-0 旭野A

◆協会・加藤(徳)高校部会長挨拶=「熱戦の末、目標の成績を収めたチーム、目標に届かなかったチーム、それぞれありましようが、この大会での教訓を糧に、各校でさらに努力・精進されるよう望みます。2日間、選手、先生方、運営協力の皆さん、ご苦労さまでした」

<男子戦績>



[3決] 栄徳B 2-1 長久手A



長久手Bに1-2で敗れたカピタ



瀬戸地方高校生大会

男子 栄徳Aが王座奪回

第32回瀬戸地方高校生大会は3月22、23の両日、市民公園で開催。単2複1の団体戦。男子30チーム・女子22チームが熱戦。男子決勝は昨年の再現。栄徳Aが瀬戸西Aに雪辱し王座を奪還。女子は聖霊Aが栄徳Aの3連覇を阻んで2012年以来5年ぶりに女王に返り咲いた。

男子30チーム 女子22チーム

女子は聖霊A 5年ぶり優勝

瀬戸西A連覇逃す

男子準決勝は連覇をめざす瀬戸西A(第1シード)対栄徳B。昨年の雪辱を挙げ、ともに2-0の完勝で決勝進

出。決勝は栄徳Aが単1勝1敗、複を6-4で競り勝って王座を奪還した。3決は栄徳Bが長久手Aを2-1で下した。

栄徳Aの3連覇阻む
女子は3連覇を狙う栄徳Aが準決勝で旭野Aに辛勝。聖霊Aは第2シード・長久手Aを2-1で倒して決勝へ。近年優勝から遠ざかっていた聖霊Aが単1つを落としたが、残る単2複で2勝し、5年ぶりのVを果たした。3決は長久手Aが旭野Aに2-0で快勝した。

<近年の優勝・準優勝チーム>

[年]	[男子V]	[準V]	[女子V]	[準V]
07	旭野A	瀬戸北A	聖霊A	聖霊B
08	旭野A	旭野B	聖霊A	栄徳A
09	栄徳A	栄徳C	聖霊A	長久手B
10	瀬戸西A	瀬戸西C	聖霊A	旭野A
11	栄徳A	瀬戸西C	聖霊A	長久手A
12	瀬戸西A	瀬戸A	聖霊A	旭野A
13	長久手A	栄徳A	旭野A	聖霊A
14	栄徳A	長久手A	旭野A	聖霊A
15	栄徳A	長久手A	旭野A	聖霊A
16	瀬戸西A	栄徳A	栄徳A	長久手A
17	栄徳A	瀬戸西A	聖霊A	栄徳A

会費 銀行振り込みご利用を

会費納入は瀬戸信用金庫、ゆうちょ銀行へ。
◆瀬戸信 店名=共栄支店 店番=008

普通預金口座番号=0269862 瀬戸市硬式テニス協会
◆ゆうちょ銀行 店名=二〇八 店番=208
普通預金口座番号=1411190 瀬戸市テ

ニス協会
※振り込み証は会員証発行に必要。保管を。
◆転居、住所変更など協会連絡用メールアドレスは setocity.tennis@gmail.com

4~6月の練習会

4月 5日(水)	19時~21時
8日(土)	17時~21時
<特別レッスンあり>	
12日(水)	19時~21時
19日(水)	19時~21時
5月 6日(土)	17時~21時
<特別レッスンあり>	
10日(水)	19時~21時
17日(水)	19時~21時
24日(水)	19時~21時
6月 7日(水)	19時~21時
14日(水)	19時~21時
18日(日)	9時~13時
<審判講習>これは北コート	
21日(水)	19時~21時
28日(水)	19時~21時

日程・役員・予算決める

理事会



17年度の大会日程、役員、予算などを決めた理事会(2月12日・体育館会議室で)

【理事会 主な決定事項】

- ◆会長以外の役員、理事らを選任
- ◆大会、教室、練習会、講習会などの日程
- ◆市民大会を除く全大会に募集枠を設定
- ◆土曜練習会2回に外部コーチを招く
- ◆大会ドロー担当者としてドロー会議の日時
- ◆予算は200万円規模・予備費13万円
- ◆会費、大会参加料は据え置き。市内在住・在勤者の「入金金免除」は継続
- ◆「100歳ダブルス大会」の賞品を増やす
- ◆「レディースビギナー大会」を「レディースチャレンジ大会」に名称変更

8大会に募集枠を設定は除く

市民大会

協会は2月12日(日)午前11時から体育館会議室で17年度理事会を開催。役員28人出席。高木会長が新年度方針を提案。今季の役員、大会など行事日程を決定。練習会担当理事、大会ドロー担当者としてドロー会議日時も決めた。役員は右表の通り。予算は収支200万円規模で予備費13万円。【今季大会・行事など全日程は3面に】

- ### 土曜練習会2回に外部コーチ招く
- 理事会総数30人・過半16。委任含め出席28で成立確認。議長に加藤徳太郎氏を選出。まず高木会長が新年度活動方針を提起。討議のち承認した。
- ①役員退会3人・退任1人、新任3人となり稲垣運管部長は兼務
 - ②会員数244人(うち昨年度加入73人)。会員数増加傾向
 - ③会費納入方法の改善は順調に機能(会員証番号変動に注意)
 - ④大会出場増に反対。市民大会を除く全8大会に募集枠を設定
 - ⑤練習会充実(土曜に外部コーチを招く(若木氏、矢野氏))
 - ⑥Aコートにマシン12本完備
- 練習会2回(審判講習2回)大会、行事日程は業務部長が提示。市選手権は昨年6月を9月3日(日)に戻した。水曜・土曜のナイター練習会は4月・10月の月々4回、計28回を計画。土曜2回(4月8日、5月6日)は旧瀬戸テニスのコートによる2時

200万円規模・予備費13万円

会員数240人とする予算案は会計から12月総会で提起済み。収入は会費74万円、体協助成金18万円、大会参加料75万円に、前期からの繰り越し金46万円を加えた213万円。支出は、大会運営費計110万円、ボール等消耗品25万円、総会・理事会運営費計19万円、会報郵送料など通信費28万円、体

よろしく新理事3人

新年度役員は下表の通り。運管部新任理事に川西育子、藤田隆博、田中整(ひとし)の3氏を選任。林浩次副会長は退会。松元一彦副会長は退任。迫西小夜子、藤垣朱美両理事は退会。

<2017年度役員>

▽会長	高木 順	八百山 浩幸
▽副会長	稲垣 将樹	橋本 明子
▽会 計	石川 均	吉田 伸子
▽運管部部長	稲垣 将樹	
運管理事	磯村 和信、小川 尋美、加藤 隆久、加茂 冷子、川西 育子、柴山 千沙子、高木 淳子、高木 正則、高島 基裕、田中 整、田中 秀樹、長江 茂幸、早坂 真弓、春田 巳恵、樋口 剛央、藤田 隆博、町田 ひと子、森 川 繁	
▽高校部部長	加藤 徳太郎	
▽業務部部長	鈴木 愛高	
業務理事	近藤 峰夫、四俣 孝子、三浦 正光	
▽体協理事	高木 順、稲垣 将樹	
▽相談役	久田 隆彦、今泉 一	
▽会計監査	久米 孝幸	
◆新任理事	川西 育子、藤田 隆博、田中 整	
◆退任と退会	林 浩次(副会長・退会)、松元一彦(副会長・退任)、迫西小夜子、藤垣朱美(ともに退会)	

大会日程(予定)17年度

4月=5日(水)	8日(土)、12日(水)、19日(水)
5月=6日(土)	10日(水)、17日(水)、24日(水)
6月=7日(水)	14日(水)、21日(水)、28日(水)
7月=5日(水)	12日(水)、19日(水)、26日(水)
8月=9日(水)	16日(水)、23日(水)、30日(水)
9月=6日(水)	13日(水)、16日(土)、20日(水)
10月=4日(水)	11日(水)、14日(土)、21日(土)

※いずれも市民公園Aコート。水曜19時~21時、土曜11~17時、21時(4月・6月分は右上に別掲)

ドロー担当者と会議(公開)日時

大会	担当者	ドロー会議日時
春季大会	高木順・稲垣・樋口	4月15日(土)17:30~
団体戦	高木順・稲垣・久米	5月6日 または当日
市民大会	高木順・稲垣・加藤徳	他 5月20日までに
ツクス大会	高木順・稲垣・森川	6月17日(土)17:30~
選手権	高木順・稲垣・加藤隆	8月26日(土)17:30~
00歳複	高木順・稲垣・磯村	9月2日(土)17:30~
デイスチャ	近藤・町田	当日(10月4日)
秋季大会	高木順・稲垣・高木正	9月30日(土)17:30~
1年・レディス	高木順・稲垣・藤田	11月18日(土)17:30~

「ビギナー」改称「チャレンジ」に

今年第1回を迎える「レディスレギュラー」大会は毎年出場ペアが少なく、振興策が望まれる。出場数増、出場要請しやすくするため「レディスチャレンジ」大会と改称する。出場資格は初心者に限らないが、中級までのレベルをメドにする。大会は10月4日(水)午前9時~午後1時。平日午前。難しい時間帯だが、教室受講者らに呼びかけ、多数参加を図る。

新会員証を送付

17年度用の新会員証が完成。会計・石川氏の手作り。昨年制定の協会エンブレム入り。12月の総会以降、およそ今年2月までに会費納入された協会員に今号会報から同封を始める。今後、会費納入を確認後、順次、会報に同封します。保管し、大会出場時には携行願います。(会報係・近藤)

会議終え寒さに震え 親睦ダブルス

理事会は午後1時に閉会。出席した約20人の役員・理事たちはAコートに移り、3個面での親睦のダブルス写真⑥。

西日本は前日に続き大雪。瀬戸地方は曇りながら寒風。かじかむ手、冷える体。ケガ注意の慎重なプレー。それでも思わず熱い戦いを展開。午後5時前に散会した。



名古屋高校卒・近藤大生

プロ15年・複の名手 指導者へ再起

知立出身34歳「日本」3度。近藤大生(ひだり)は34歳が現役引退。18歳でプロ転向から15年、重なるケガで気力喪失が理由。知立市出身。名古屋高校卒。06年、10年、11年と全日本選手権3度優勝。今後は指導者としてテニスの楽しさを伝えていきたいと新たな道に挑む。

小学1年の野球少年が姉に連れられて行ったテニス。野球のリトルリーグに入れた小4まで。のちにテニスに没頭。刈谷の桑原正和コーチに誘われて育

テニスの楽しさ伝える

振り返って「もったいなかった」という気が9割。それを含めて1割。後悔もあるけど、それを含めて僕のテニス人生と語る。昨1月の「ダブルス」豊田が最終戦。憧れの鈴木貴男(0歳)と組んで復讐。準決勝敗退。コートに入る。近藤は1年後輩。森川(協会委員)の話し。彼は学校の練習には殆ど来ませんでした。遠征の連続。県大会から準決勝敗退とかスパーシード。当時。は団体戦も無敵でしたが、一緊張するから少しは応援に来たというので、4人送りしました。強さ別格でしたね。

おっレア写真!

堀江が「日本1」破りV

昨年、綿貫を破って優勝した堀江。一昨年、綿貫を破って優勝した堀江。堀江は千頭と組んで復讐準備中。

豊川勢 貢献

一色・小野田・安藤

正月の箱根駅伝。青山学院が往路、復路とも制す完全優勝で3連覇。7区・田村のブレーキ(区間11位)も楽々カバリの圧勝。1万1000人平均28分41秒は他の有力校と約20秒差のダントツ。原監督が「2チーム出してもシード権(10位以内)取れる」と豪語する層の厚さ。青学10走者の内3人の豊川勢がVに貢献した。2区・一色恭志(ただし豊川高)出4年は3年連続エース区間で不完全燃焼ながら区間3位。山下・6区で山下・6区で小野田勇次(豊川高)出2年が昨年同様区間2位の快走でV3を決定づけた。大後アキラ2度目の安藤悠哉(豊川高)出4年(主将)は余裕の走り。手堅く区間4位。東洋大に7分以上の大差をつけて完全優勝。総合3連覇。大学3冠のフィニッシュ。対抗の早稲田は往路に主力を集中。3区・平豊川工出4年。主将が力走。山登り5区でも追い込んだが33秒届かず2位。逆転も。しかし駒不足。復路には井戸(昨年9区1位・4年)しか残っていない。切り札を早め7区へ回したが区間3位で大差を詰めるのが精一杯。以降区間14位、7位、9位と凡走。2位死守もならず復路9区に沈み、総合3位。一色・下田・五輪マシソン組。青学の一色・下田悠太・静岡出身。3年からはマシソン。まだ2時間11分台だが、実業団勢を追って東京五輪に照準を合わせる。

運営新理事あいさつ

川西育子「股関節ケガでプレー停止中。協会に長年お世話になってますので恩返しのため。転出した息子の健太も会員に留めます」。藤田隆博「瀬戸へ引っ越してきて10年。当初から妻(由佳)と協会加入。何か活動に協力できればと思ってました。が機会を下さり感謝。T-Bがテニス・パスターズ所属」(残念 田中氏は委任出席)

錦織 徳杯1回戦 仏に完敗

男子国別対抗戦「デ杯」ワールドグループ(WG)16強1回戦。4月1日の日本1回戦。西岡良仁(北日本物産)が西岡良仁(北日本物産)に敗れた。西岡良仁は、9月のWG入れ替え戦に敗れた。西岡良仁は、9月のWG入れ替え戦に敗れた。西岡良仁は、9月のWG入れ替え戦に敗れた。



◆植田監督の語「ポイントを取るための工夫とショットの正確さ・精度で向こうが上回った」
◆西岡「第1、2セットとも先にブレークしながら相手にはいい流れを断ち切られてしまっ、少い。力をつけるしかない」

錦織 開幕戦V逃す

好調デイトロフに不覚。今季開幕戦で全豪前哨戦。フランス国際決勝(1月8日)で世界5位のデイトロフに敗れた。デイトロフは、6-6、2-3、6-4で敗れた。デイトロフは、6-6、2-3、6-4で敗れた。



◆錦織の語「デイトロフは守りがよく、高いレベルでいいプレーをした。こちらにもチャンスがあったけどもつたくなかった。初めて決勝進出した。準々決勝、準決勝(パプリンカ戦)は攻撃的に戦えたので、ポジションに捉えたい。臀部の痛みは大したことではない」

徳杯 入れ替え戦進出ならず

女子フデ杯アジア・オセアニア1回戦。西岡良仁(北日本物産)が西岡良仁(北日本物産)に敗れた。西岡良仁は、9月のWG入れ替え戦に敗れた。西岡良仁は、9月のWG入れ替え戦に敗れた。

OP 穂積・加藤組 8強止まり

女子の台湾オープン(2月5日)までで、奈良はヤンヒョウチを破った。2回戦負け。第6シード・土居は準々決勝でサファロバ(チリ)に敗れた。

ASBクラシック 準々決勝 大坂手首ケガで棄権

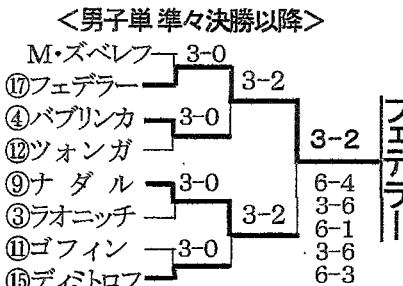
女子のASBクラシック(2月10日)で、大坂は手首ケガで棄権した。大坂は、2回戦で棄権した。大坂は、2回戦で棄権した。

注目の堀江、永田が奮戦

全豪予選挑戦の日本男子の杉田祐一(三菱電機)、ダニエル太郎(ダニエル太郎)、西岡良仁(北日本物産)が、9月のWG入れ替え戦に敗れた。西岡良仁は、9月のWG入れ替え戦に敗れた。

ナダル下し4大会18勝目

全豪(1月29日)で男女波乱。8強前にマリ、ジョコビッチが消え、第5シード・錦織もフェデラーに惜敗。決勝はフェデラー(スイス)がナダル(スペイン)を下して7年ぶり5度目のV。4大会最多18勝目。女子も4強にノーシード2人。セレナ(米)が姉妹対決を制して7度目の優勝、4大会23勝目。ジェニ、マリ、早々敗退。3連覇を狙うジョコビッチが2回戦で17位のイストミンに不覚。マリも4回戦でネットランチャー・50位の11勝23敗。4大会決勝対

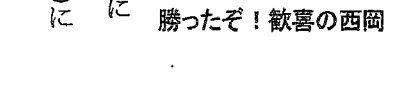


◆フェデラーの語「復帰へ十分な準備をした。大穴もいと言ったが、決勝で戦えるとは思ってなかった。勇敢に攻めることを貫いた。最高で特別な夜になった」

決は9度目。フェデラーが最終セット1-3から5ゲーム連取。3時間38分、6-4、3-6、6-1、3-6、6-3。賞金3億2千万円を獲得。男子複はコネチクソン(フランス)とピアース(豪)組が初制覇した。ノーシード旋風2人4強。女子はノーシード・バンダウチ(米)がケルバー、ムタルサを連破。ルッチ(バロ)・クロアチアと共々4強入り。ピアース組が初優勝。

2人をウィリアムズ姉妹が退け、全豪4年ぶり4大会で09年全英以来の対決。妹・セレナが6-4、6-4で制して2年ぶり7度目のV。4大会23勝目をクラフ(独)を決した。大会で世界ランク1位奪回も決した。男女単決勝の4人は30歳代、平均34歳。一時代前に逆戻りの感。混復はピアース(米)・カバル(コン)ピアース組が初優勝。

13シードのバウティスタ(スペイン)に2-6、3-6、3-6で屈した。添田は初戦でジャシリ(チリ)に3-6、4-6、3-6で敗れた。



勝ったぞ！ 歓喜の西岡

フェデラー 7年ぶりV

錦織8強ならず。フェデラーに4回戦で惜敗。錦織は6年連続16強入り。4回戦で左膝故障から半年ぶり復帰のフェデラー(177位)に7-6、1-6、4-6、6-4、3-6で敗れた。3年連続の8強はならなかった。1回戦45位、スズネツオ(ロシア)に

最終セット6-2の辛勝。2回戦72位、シヤルディ(仏)、3回戦121位、ラツコ(スロバキア)に快勝。3回戦で第10シード・ベルデイ(チリ)に完勝したフェデラーは8強をかけて対決。過去錦織2勝4敗。

フルセットに持ち込んだが、第1セット、4-0から辛くもタイブレークを取る。乗ってきたフェデラーに第2、第3セットを奪われた。第4セットは意地を見せて奮い返し、得意の最終セットに持ち込んだ。左腰に痛み。第2ゲーム、痛恨のブレークを許す。最後までブレークバックできず、3時間24分、力尽きた。サービスマス24本、ウイナーは

西岡「ベストだ」初白星。99位、西岡は1回戦、ボルト(豪)に6-4、1-6、6-1、2-6、4-6で全豪初勝利。「相手の癖をつかんでベストのプレーができた」と笑顔。2回戦は第

女子複、22歳の穂積・加藤組が唯一のイングリッシュ組が快進撃。3回戦で第4シードのミルザ組を倒し、準々決勝もルッチ(バロ)・クロアチア組を撃破。準決勝で第2シードのメック(ス)・サファロバ(チリ)組に2-6、6-4、4-6で惜敗。サファロバ組が2年ぶり2度目のV。全米に続き連勝。日比野・ロウスカ(オランダ)組は2回戦敗退。青山・二宮組、土居・奈良組、大坂(イングリッシュ)組、波形・倉(せん)・台湾組は初戦敗退。

波乱の全豪



◆錦織の語「もったいない負け方に失望している。第1セット5-2のチャンスでミスって追いつかれ、フェデラーを生き返らせてしまった。サーブの差だ。もう少し1stが入れば違った展開も。後半は2ndを狙い打たれた。最終セット、集中力が欠けた。1ブレークが命取りになった」

女子複、22歳の穂積・加藤組が唯一のイングリッシュ組が快進撃。3回戦で第4シードのミルザ組を倒し、準々決勝もルッチ(バロ)・クロアチア組を撃破。準決勝で第2シードのメック(ス)・サファロバ(チリ)組に2-6、6-4、4-6で惜敗。サファロバ組が2年ぶり2度目のV。全米に続き連勝。日比野・ロウスカ(オランダ)組は2回戦敗退。青山・二宮組、土居・奈良組、大坂(イングリッシュ)組、波形・倉(せん)・台湾組は初戦敗退。

女子複、22歳の穂積・加藤組が唯一のイングリッシュ組が快進撃。3回戦で第4シードのミルザ組を倒し、準々決勝もルッチ(バロ)・クロアチア組を撃破。準決勝で第2シードのメック(ス)・サファロバ(チリ)組に2-6、6-4、4-6で惜敗。サファロバ組が2年ぶり2度目のV。全米に続き連勝。日比野・ロウスカ(オランダ)組は2回戦敗退。青山・二宮組、土居・奈良組、大坂(イングリッシュ)組、波形・倉(せん)・台湾組は初戦敗退。

女子複、22歳の穂積・加藤組が唯一のイングリッシュ組が快進撃。3回戦で第4シードのミルザ組を倒し、準々決勝もルッチ(バロ)・クロアチア組を撃破。準決勝で第2シードのメック(ス)・サファロバ(チリ)組に2-6、6-4、4-6で惜敗。サファロバ組が2年ぶり2度目のV。全米に続き連勝。日比野・ロウスカ(オランダ)組は2回戦敗退。青山・二宮組、土居・奈良組、大坂(イングリッシュ)組、波形・倉(せん)・台湾組は初戦敗退。

女子複、22歳の穂積・加藤組が唯一のイングリッシュ組が快進撃。3回戦で第4シードのミルザ組を倒し、準々決勝もルッチ(バロ)・クロアチア組を撃破。準決勝で第2シードのメック(ス)・サファロバ(チリ)組に2-6、6-4、4-6で惜敗。サファロバ組が2年ぶり2度目のV。全米に続き連勝。日比野・ロウスカ(オランダ)組は2回戦敗退。青山・二宮組、土居・奈良組、大坂(イングリッシュ)組、波形・倉(せん)・台湾組は初戦敗退。

5年ぶりアルゼンチンOP

錦織V逃す

世界5位・錦織はアルゼンチンオープン決勝(2月19日)で敗れ、ツアー12勝目を逃した。全豪後、デ杯欠場の錦織は4連覇中の米メキシコ大会を避け、全仏に備えて南米のクレイ2大会に参戦。アルゼンチン(V2500)は5年ぶり。第1シード・シエロツマン(アルゼンチン)・ソウザ(ポルトガル)に快勝。準決勝で、ベルゴ(アルゼンチン)を逆転して決勝に進んだが、過去5戦全勝の66位ドルゴゴボフ(ウクライナ)に6-7、4-1で敗れた。昨年2月、メキシコ優勝以降、決勝6連敗。

「リオ」1回戦負け

錦織は南米クレイ2戦目、ブラジルのリオオープン(2月20日)でV500(第1シード)。1回戦、攻守に精彩な4-6、3-1でシシ(ブラジル)に4-6、3-1で敗れ、錦織の1回戦敗退は一昨年の全米以来。

パリバ8強止まり

錦織はマスターズ(優勝1000点)初戦のBNPパリバ(米インディアナウエルズ3月13日)は第4シード。2回戦からエ・ハズ

元1位・イワノビッチが引退

元女王・イワノビッチ(29歳)が昨年末、引退を表明。ツア



元女王・イワノビッチ(29歳)が昨年末、引退を表明。ツア

15勝。08年全仏で4大会初V、世界1位に。最近は故障で60位台に落ちた。

◆伊達 5月に長良川で復帰膝を手術した伊達公子は5月

(英)、ミラー(ルクセンブルク、ヤング)米をすべて2-0で下して2年連続8強入りしたが、準々決勝で18位・ソック(24歳)米に3-6、6-1、2-1で敗退。「ミスが多かった。サーブに対応できなかった」と敗因。

西岡バブ食い寸前

70位・西岡(ミキハウス)が2回戦、第19シード・カロビッチ(クロアチア)に完勝。3回戦で第13シード・バルデイハ(元4位)にキ

錦織 マイアミ4強ならず

40位フオニーに完敗

マスターズ2戦目のマイアミオープン(3月20日)。マリ、ジヨビッチともに右肘故障で欠場。第2シードの錦織は準々決勝に進んだが、40位・フオニー(伊)に4-6、2-1で敗退。4回戦で左膝のほか右手首を痛め本来のプレーには程遠い出来。わずか1時間8分の完敗だった。

錦織は2回戦・アンダーソン(南ア)に快勝。ベルダスコ(スペイン)、デルポニスタル(アルゼンチン)に辛勝して8強入りしていた。昨年準優勝だけに、ランクは4位から7位にダウン。次戦は4月24日開幕のバルセロナOPを予定。

錦織の話「サーブとフオアが打てなかった。右手首はそれほどひどくはなかった。右手首はそれほどひどくはなかった。」

長良川プラザでのカンガルーカップ大会で復帰の予定。4月に愛媛でのエキシビジョンに日比野と組んで複に出場し復帰準備◆シヤラポワは4月末に独で薬物違反で15か月の資格停止を受け、4月26日に処分が解けるシヤラポワが4月24日開幕のボルシェグランプリ(独)に主催者推薦で出場、ツ

のサーブ不調(1st確率50%。ダボ10本)を突いて1-6、7-4、4-6の大逆転で16強。4回戦でバプリンカ(スイス)に6-3、3-6、6-7の逆転惜敗。最終セット、あとサーブミス。キープだけだったが、やれどとは全てやった。悔はない。決勝は第9シードのフエデライがバプリンカを下して90勝目。女子52位・大坂は2回戦で第30シードの張帥(中国)に快勝したが、3回戦で第9シードのキ

豪のジュニア王者が八百長? 1月、豪のプリンス大会中、昨年全豪ジュニア男子準優勝した18歳のオリバー・アンダーソン(豪)が八百長容疑で地元警察の取り調べを受けたと複数のメディアが報じた。世界ランク700位のアンダーソンは昨年10月のツアー下部大会で第2セットを落とすよう指示されていたとの疑い。4-6で落し、以降の2セットを取って逆転勝ちした。昨年1月の八百長騒動以降、国

ズ(米)に昨全米の雪辱ならず1-6、4-6で敗れた。

女子尾崎健闘16強

女子の大坂は2回戦で第3シード・ハレブル(ルーマニア)に4-6、6-2、3-6で惜敗。予選上がり尾崎がチリ(米)、ベルテス(オランダ)、ゲルグス(独)を連破して16強入り。4回戦で1位・第1シードのケルバー(独)に2-1、6-2、6-4で力尽きた。土居、奈良はともに1回戦敗退。復の青山(中国)組は2回戦で惜敗。大坂、ツイグ、フエルトリコ組は1回戦で敗れた。

ていくしかない。やり切れない悔しさがある。

女子尾崎健闘16強

女子の大坂は2回戦で第3シード・ハレブル(ルーマニア)に4-6、6-2、3-6で惜敗。予選上がり尾崎がチリ(米)、ベルテス(オランダ)、ゲルグス(独)を連破して16強入り。4回戦で1位・第1シードのケルバー(独)に2-1、6-2、6-4で力尽きた。土居、奈良はともに1回戦敗退。復の青山(中国)組は2回戦で惜敗。大坂、ツイグ、フエルトリコ組は1回戦で敗れた。

アに復帰するとう。

アに復帰するとう。

アに復帰するとう。

アに復帰するとう。

不正監視機関「IU」は16年の報告書で八百長行為の選手や大会関係者の計11人を永久失格に示したと発表。疑念ケースは15年246件が16年は692件に増え、2022件がツアー下部大会だったとしている。

日比野、2勝目を逃す

女子のマレーシアオープン単決勝(3月5日)で日比野菜緒(ルルン・106位)は1-5、8位・バートイ(豪)に3-6、2-1で敗れ、ツアー12勝目を逃した。

井烈(59歳)は専務理事に

井烈(59歳)は専務理事に。

井烈(59歳)は専務理事に。

全米複優勝の加茂逝く 4大会で男子唯一の優勝者・加茂公成(70歳)が11月6日、心筋梗塞で死去。84歳。東京都出身。日本テニス協会顧問。55年、デ杯東洋ゾーン優勝の立役者。同年、宮城淳と組んで全米男子複制覇。



唯一の優勝者・加茂公成(70歳)が11月6日、心筋梗塞で死去。

STKニュース

協会業務部長の会報。原則隔月。1975年(昭和50年)創刊。98年から定期刊行。第10号まで植田俊幸・元理事、11号から理事・近藤峰夫が制作を担当。近250部。会員に郵送。

次号は5月「団体戦」後

次号は5月「団体戦」後